

議会だより



表紙：^{いましる けいた}今城 慧太 (30才・理学療法士・佐柿)

Contents

●令和4年度歳出決算

町民のために実施した仕事の成果

地域の足を守る 住民の生活を守る 次世代の農業支援 … 4

●9月補正予算 保育園のおむつ持ち帰りゼロ … 3

●【議会活動】 研修会・地域交流・議会視察

全国交流レガッタ 議会議員の部 第3位!! … 9

●【表紙インタビュー】 こんないい町に住めることに感謝
子育てのために美浜町に移住
優しい人たちに囲まれて地域の人たちとも交流 … 2

● 町政を問う 6人の議員が質問しました
一般質問 … 10

●美浜中学校体育祭『アオハル』を謳歌 … 16

子育て支援 ひとり親家庭こどもチャレンジ応援事業 123万円

ひとり親家庭のこどもの成長を支援するため習い事の費用の一部を負担

- ◎対象者:小学4年～中学3年までの児童を養育するひとり親家庭(所得制限あり)
- ◎補助上限:月額1万円(※児童扶養手当一部支給世帯は5千円)
- ◎補助対象:こどもの習い事、学習塾(5教科)に係る入会金・月謝(中学生は学習塾のみ) 《令和5年10月より開始》

新庄山里ゾーン活性化事業 182万8千円

若狭路・美浜トレイルに訪れる登山愛好家の安全確保と利便性向上を目的として登山道の案内表示板の製作に対する補助

- ◎設置箇所:御岳山ルートその他全16ルート。案内表示板32本
- ◎登山道標柱:ガラスコーティング木柱・銘板プレート



本とのふれあい活動事業 105万1千円

【親子がわくわく美浜の図書館】

家庭では手に取る機会の少ない等身大の絵本や大型の紙芝居、しかけ絵本等を配備して、子どもとおとなが楽しめる図書館を目指す

- ◎大型絵本78冊・大型紙芝居15冊・しかけ絵本20冊・紙芝居37冊
- ※こどもたちの未来への支援を目的とした北山繁男氏(美浜町出身)の寄付金を財源に実施



明かりのまちづくり事業

141万8千円

美浜町内の幹線道路に整備されている防犯灯626灯をナトリウムランプからLED灯に更新する

- ◎令和5年度:県道松尾河原市線 実施設計
- ◎令和6年度:順次実施設計、更新工事を実施

自主防災組織強化事業 450万円

地域防災力の向上と自主防災組織の強化を図るため、地域の防災活動。資機材の整備に対する補助

- ◎補助対象:地域自主防災組織
- ◎補助上限:100万円(大規模地区は150万円)
- ◎整備内容:防災倉庫及び非常用発電機等

おむつ持ち帰りゼロ対策

221万3千円

町内の保育園において保護者が使用済みおむつを持ち帰らなくても済むように保育園で処分する設備を導入

- ◎紙おむつニオイ密封機
- ◎野外保管用大型ごみ容器

河川水位計設置事業

615万7千円

町内8ヶ所の河川水位計に加え、アンダーパス2ヶ所に水位計を設置して大雨時の事故防止を図る

- ◎アンダーパス:大藪地区、佐柿地区



プロフィール
いましる・けいた
小学校から大学まで野球をしていた。(高校は強豪校の三重高校、ずっと)ツッチャー(筋) 大学で理学療法士の勉強をしているときに奥さんと知り合う。奈良県の病院で7年間勤務して、美浜町に移住。

「国吉歴史資料館」は近くにあるので、家族と一緒に何度か見学。大好きな場所



シリーズ 第7回
がんばる人



「せせらぎ保育園」の運動会に参加



町民レガッタでも「佐柿国吉」の一員として参加

●議会の課題
子育て施策の充実
介護する人材の育成

子育てのために
美浜町に移住

子どもを授かったとき、どう育てるかを考えて安心して子育てできる町を選びました。すべての面で理想的な環境でした。

- Q: 簡単な経歴を教えてください
A: 三重県出身です。去年の3月に美浜町に移住してきました。敦賀市の方で理学療法士をしています。妻も理学療法士で共働きになりました。子どもは3才の子と4ヶ月の2人です。
- Q: 移住を決意したきっかけは?
A: 1人目の子が1才ぐらいのとき妻の実家の近くに家を買いました。共働きなので何かと頼れると思ったからです。歩いてすぐのところなので助かっています。
- Q: 美浜町での子育てはどうですか。
A: 子育てのいろんな補助がしっかりしていて安心しています。朝夕の保育園の送り迎えは手のあいている方がやっています。実家に頼ることもできませんし負担は少ないです。
- Q: こちらに住んでどんなことに戸惑いました?
A: 区の合同作業(奉仕作業)は今まで経験したことがなかったので戸惑いました。それまで草刈り機を使ったこともないので、大変でした。でも、皆さん親切に教えてもらえるので何とかやっています。
- Q: 住み心地はどうですか?
A: 地域の人が声を掛けてくれます。皆さん優しい人です。義父母たちからもいろいろ教えてもらえますので助かります。おかげで地域に早く溶け込むことができました。こちらに住んで魚が美味しいことに驚きました。近くにお店もいろいろあるし、不便は感じていません。これからずっとこちらで住み続けるつもりです。
- Q: お仕事の方はどうですか?
A: こちらの地域は介護施設の事業所が少ないと感じました。介護現場の人材不足の面もあるかと思いますが、これからの時代事業所を増やしていかなければならないと思います。

町民のために実施した施策の主な成果

生活と直結する施策

チェック

令和4年度歳出決算額 121億2,475万1千円

本年度の歳入決算額は前年比7億5,452万3千円(6.2%)の増収となりました。
町税の収入済額は48億1,094万3千円で前年比5億3,802万7千円(12.6%)の増収となり町内企業の設備投資が増加したことにより、固定資産税が6億689万4千円増加したことが主な要因です。

総務費 38億1,288万円

地域の足を守る

- 公共交通運行事業……………3,483万円
- 地域生活交通活性化事業……………856万円
- 路線バス運行維持事業……………2,199万円
- 公共交通機関利用促進事業……………455万円
- 乗ろうよ！小浜線利用促進事業……………116万円

住民の生活を守る

- 子育て世帯への臨時特別給付金給付事業……………201万円
- がんばる美浜人応援商品券発行事業……………9,378万円
- 子育て世帯生活支援特別給付金給付事業……………756万円
- 住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付事業……………5,250万円

- ケーブルテレビ施設更新事業……………13億6,063万円
- 庁舎防災機能強化事業……………8,385万円
- 美浜ふるさと納税推進事業……………7,304万円
- 戸籍・住民基本台帳システム運行事業(コンビニ交付等)……………7,176万円



農林水産業費 6億3,985万円

次世代の農業支援

- 新規就農者支援事業……………1,235万円
- 農業人材育成拠点整備事業……………937万円
- がんばる農業者応援事業……………1,414万円
- 園芸育成支援事業……………5,570万円

資源保護の水産支援

- 内水面漁業振興事業……………1,026万円(稚鮎・ウナギ稚魚等放流)
- 浅海増殖事業……………120万円(アワビ稚貝3,300個 サザエ稚貝7,000個等放流)
- がんばる漁業者応援事業……………298万円
- 水産振興施設整備事業……………740万円

- 儲かるふくい型農業総合支援事業……………5,684万円
- 有害鳥獣対策事業……………1,483万円(捕獲数:シカ306頭・イノシシ118頭・サル136頭他)

商工費 10億2,429万円

三方五湖観光対策

- 三方五湖ゾーン整備事業……………5億2,422万円
- 三方五湖ゾーン活性化事業……………2,103万円
- はあとふる体験推進事業……………779万円
- 民宿等活性化事業……………3,870万円
- 美浜駅改修事業……………4,948万円

土木費 14億3,204万円

- 美浜町スマートコンパクトシティ魅力創造拠点化事業……………8億9,717万円
- 美浜町高島市間道路整備効果調査・検討事業……………1,499万円
- 町営住宅改修事業……………4,927万円
- 空き家利活用促進事業……………558万円
- 老朽危険家屋等対策事業……………103万円

民生費 15億4,822万円

- 後期高齢者医療広域連合負担金……………1億5,425万円
- 子ども医療費助成事業……………2,864万円
- 出産・子育て応援交付金給付事業……………771万円
- 保健福祉センター管理運営事業……………3,116万円
- 保健福祉センター防災機能強化事業……………8,361万円
- 児童手当支給事業……………1億1,405万円
- 保育園運営管理事業……………1億4,391万円

消防費

6億1,369万円

- 敦賀美方消防組合負担金……………3億4,973万円(美浜町負担金19.59%)
- 要配慮者等屋内退避施設整備事業……………2億2,005万円

労働費

3,333万円

- シルバー人材センター運営費補助金……………784万円

公債費

4億6,041万円

- 長期償還元金……………4億3,304万円

教育費

11億776万円

- 給食センター施設整備等更新事業……………1億3,356万円
- 給食センター管理運営事業……………9,878万円
- 図書館情報システム化事業……………517万円
- 本とのふれあい活動事業……………204万円
- 生涯学習センター管理事業……………5,526万円
- なびあす文化事業……………2,160万円

衛生費

13億5,602万円

- 感染予防事業……………3,078万円(定期予防接種(児童)延べ1,974人(高齢者インフルエンザ等)延べ2,149人)
- 海岸漂着物撤去処分事業……………2,174万円(令和2年度443㎡ 3年度561㎡ 4年度920㎡)
- 廃棄物処理広域化事業……………2億7,486万円(負担割合:敦賀市76.01% 美浜町23.99%)
- 公立小浜病院組合負担金……………1億6,433万円(美浜町民利用状況:外来延べ5,950人 入院延べ7,237人)

町の財政状況は健全です

美浜町の財政が健全であるかを4つの財政指標で判断しました。

- 1 実質赤字比率**
令和4年度は赤字はありませんでした。
(普通会計の赤字比率で、早期健全化基準は11.25~15%以上。財政再生基準は20%以上)
- 2 連結実質赤字比率**
令和4年度の赤字はありませんでした。
(普通会計に病院や下水道などの公営事業会計を合わせた連結の赤字比率で早期健全化基準は16.25~20%以上。財政再生基準は30%以上)
- 3 実質公債費比率**
前年度より0.7%低くなり、7.6%となりました。
(標準財政規模に対する全会計と一部事務組合などを合わせた単年度の借金返済額の割合で、早期健全化基準は25%以上、財政再生基準は35%以上)
- 4 将来負担比率**
前年度から1.1%高くなり66.7%になりました。
(第三セクターなども含め、自治体が将来的に負担すべき借金の残高が財政規模の何倍かを示すもので、早期健全化基準は350%以上)

賛否が分かれた議案

議席順に掲載（○賛成×反対△欠席□退席）し、反対または退席等があった議案だけ載せています。
 ※議長（山口和治）は採決に加わりません。

議案番号	幸丈	兼田	中牟田	上道	高橋	梅津	河本	辻井	川畑	松下	崎元	藤本	竹仲
議案第56号	○	○	○	—	○	○	×	○	○	×	○	○	○
議案第68号	○	○	○	—	○	○	×	○	○	×	○	○	○
同意第13号	○	○	○	—	○	○	×	○	○	○	○	○	○

討論概要

〔9月定例会〕

議案第56号 令和4年度美浜町一般会計歳入歳出決算の認定について
 反対討論

「エネルギー環境教育体験館『きいばす』の運営事業」、「健康楽膳拠点施設『くるば』の運営事業」、「再生可能エネルギーの導入可能性調査業務の委託料」、「新レイクセンター」、電池推進船に関する事業」、「道の駅整備に係る事業」などに反対し、予算の執行を認めていないので本決算についても認めることはできない。（河本議員）

議案第68号 令和5年度美浜町一般会計補正予算（第4号）
 反対討論

総務費の財政調整基金への積立金2億2000万円は、すでに令和4年度末の残高が積立金の目安の3倍を超える額が積み立てられており、学校給食の無償化や子育て教育環境の充実、医療・福祉介護の負担軽減など、子どもから高齢者にいたる幅広い住民サービス、「住民の福祉向上」のために使うべきだ。

「住民の福祉向上」や「人材」に予算を使い、住民サービスや町の景況感において、町の基盤を底上げしていくべきだと考えるので、本議案で計上されている財政調整基金への2億2000万円の積立を認めることはできない。（河本議員）

議員視察

原子力の未来のために行ってきました 原子力特別委員会

10月11日から3日間に渡り青森県六ヶ所村と東通村の原子力関連施設等調査研修に行ってきました。「量子科学技術研究所」では次世代核融合の仕組みや、東北電力の「東通り発電所」・「再処理施設」を回りました。



第4回 美浜町議会臨時会 議案 第5回 美浜町議会定例会 議案

議案番号	件名	委員会付託	議決結果	対応ページ
議案第54号	令和5年度美浜町役場庁舎改修工事請負契約について	—	可決	
議案第55号	土地の処分について	—	可決	

9月定例会では、同意2件が追加提出されました。

議案番号	件名	委員会付託	議決結果	対応ページ
議案第56号	令和4年度美浜町一般会計歳入歳出決算の認定について	予算決算	可決	
議案第57号	令和4年度美浜町診療所事業特別会計歳入歳出決算の認定について		可決	
議案第58号	令和4年度美浜町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について		可決	
議案第59号	令和4年度美浜町後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定について		可決	
議案第60号	令和4年度美浜町介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について		可決	
議案第61号	令和4年度美浜町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について		可決	
議案第62号	令和4年度美浜町集落排水処理事業特別会計歳入歳出決算の認定について		可決	
議案第63号	令和4年度美浜町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について		可決	
議案第64号	令和4年度美浜町産業団地事業特別会計歳入歳出決算の認定について		可決	
議案第65号	令和4年度美浜町住宅団地事業特別会計歳入歳出決算の認定について		可決	
議案第66号	令和4年度美浜町道路用地取得事業特別会計歳入歳出決算の認定について		可決	
議案第67号	令和4年度美浜町上水道事業会計決算の認定について		可決	
議案第68号	令和5年度美浜町一般会計補正予算（第4号）		可決	
議案第69号	令和5年度美浜町介護保険事業特別会計補正予算（第1号）		可決	
議案第70号	令和5年度美浜町集落排水処理事業特別会計補正予算（第2号）	可決		
議案第71号	令和5年度美浜町公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）	可決		
議案第72号	令和5年度美浜町住宅団地事業特別会計補正予算（第2号）	可決		
議案第73号	令和5年度美浜町上水道事業会計補正予算（第2号）	可決		
同意第13号	美浜町教育長の任命につき同意を求めることについて	—	可決	
同意第14号	美浜町教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	—	可決	

※略称 予算決算…予算決算常任委員会 総務文教…総務文教常任委員会 産業厚生…産業厚生常任委員会

第32回 全国市町村交流レガッタ下諏訪大会 議会議員の部 第3位!!

全国
26クルー



美浜町からは6チームが
出場し全力を尽くしました!



9月30日・10月1日と2日間に渡り長野県下諏訪町で全国交流レガッタが開かれました。美浜町からは6チームが出場しました。全国の猛者が集まるレースで、わが議員チームが3位の栄誉に輝きました。忙しい中、猛暑の中、練習を重ねた甲斐がありました。このパワーを町民のための議員活動に生かします。



より良い広報誌を作るため3人の講師から学びました。著作権等の法律知識を弁護士玉置奈々子先生、基礎知識を白木一誠先生、デザインを平本久美子先生から具体的な例を挙げて学びました。特にデザインではやってはいけないデザインや、目に止まるデザインの方法を学びました。今後の広報誌面に反映させる所存です。



**令和5年度
町村議会広報研修会**
町民の皆様にも読んでもらえる広報誌をどう作るかを学びに広報委員たちが研修を受けました。

常任委員会の動き

9月定例会では、予算決算常任委員会に議案18件が付託され、詳細な審議を行いました。

詳細な内容は議会ホームページをご覧ください▶

<https://www.town.fukui-mihama.lg.jp/site/town-council/>



9月定例会 予算決算 常任委員会

議案第56号

令和4年度美浜町一般会計歳入歳出決算の認定について

問 町税の総額に占める原子力発電所関連の割合はどの程度か。

回答 総額に占める割合は74.41%である。

問 町民税が6億7000万円から5億7500万円に下がった要因は何か。

回答 個人町民税の減少は人口減少が原因であり、法人町民税は町内企業の業績が大きく落ち込んだことが原因。

歳出《総務費》

問 美浜町内公共施設におけるPPA(電力販売契約)モデル導入可能調査業務によって、何が得られたのか。

回答 町内の公共施設でPPAモデルを導入することは採算面で難しいことがわかった。

問 町や区で管理している防犯灯のLED化の状況はどうなっているのか。

回答 区が管理しているLED化していない防犯灯は516灯ほど残っており、年1000灯で令和6年度に終わればよいと考えている。町管理のものは1224灯あり26%が完了した。5年計画で更新していく。

《民生費》

問 地域福祉力強化推進事業で社会福祉協議会から職員2名を連携職員として健康福祉課に配置しているが、社会福祉協議会の人材は不足していないのか。

回答 町内すべての福祉関係の事務所で人材は不足している。地域福祉活動を支える関係団体の地域力強化が必要であることから重層的な連携を強化し、さらには制度から外れる方々への支援体制の基盤整備である。

《衛生費》

問 海岸漂着物撤去処分事業の回収量が前年より大幅に増えている要因は何か。

回答 悪天候により漂着したものが例年以上に多かったからである。

《農林水産業費》

問 町の水田支援、園芸支援、新規就農者支援で補助率が違うのはなぜか。

回答 水田支援は4分の1、園芸支援は3分の1、新規就農は2分の1である。農業基本計画でアクションプランを立てながら農業人材育成拠点施設を作った経緯があり、園芸を推進していく考えがあったからである。水稲だけでなく園芸との複合計画も増えてきており、補助率を対応していきたい。

《商工費》

問 美浜町レイクセンターにお土産物売り場がない理由は何か。

回答 町内の店と競合しないようにするため、お土産売り場を設置しなかった。

問 民宿等活性化事業で7件の支援があったとのことだが、受け入れ人数はどれくらい増えたのか。

回答 部屋数を増やすというより内装の改修で、宿泊単価を上げる方向で考えている。

議案第57号
令和4年度美浜町診療所事業特別会計歳入歳出決算の認定について

問 丹生診療所と東部診療所の診療収入が減っているが、今後各診療所を維持することはできるのか。

回答 診療所には一般診療とは別の役割があると考えており、丹生診療所には現在オンライン診療の実証実験に参加しており、東部診療所についてはコロナの予防接種に際してまち全体の3割を担っていた。

議案第68号

令和5年度美浜町一般会計補正予算(第4号)

問 公共交通運行事業のタクシー事業者持続化補助について、町内のタクシー事業者の運転手不足は把握しているのか。

回答 補助はLPガス車両からハイブリッド車等の省エネ車に入れ替えるための補助である。運転手不足も把握しており、町内2社のうち1社は夜間については敦賀のタクシー業者に来てもらうこともあると聞いている。運転手募集の合同説明会を開催し、運転手の確保に県と共に取り組んでいる。



河本 猛 議員

問 報道により上関の住民の声が伝わってくる。中間貯蔵施設の建設に反対する住民の運動も激しさを増している。関西電力の電力消費地や電力供給を担ってきた原発立地は、行き場のない使用済み核燃料を押し付けられる住民のことを考えなければならぬ。考えれば考えるほど、本心に心の痛い問題である。住民が二分される上関の報道、町長はどのような思いで見ているのか。

答 ①使用済み核燃料、上関の報道をどのような思いで見ているのか！ 動向に対し言及する立場にはなく、推移を見守りたい。

町長 地域にはそれぞれ諸事情があり、施策課題に対する住民の様々な考え方や意見があるのは一般的なことと受け止めている。こうした動向に対し、私は言及する立場にはなく、推移を見守っていききたいと考えている。

意見 美浜町の町民は、原発推進であっても反対派

であつても、県外の住民に使用済み核燃料を押し付けて、なりふり構わず喜んでいる人はほとんどいない。上関の問題を目的の当たり前にして、使用済み核燃料を搬出する側の地元町民の一人として、無責任で、罪悪感、羞恥心を日に増して感じている。私は「美浜町を核のゴミ捨て場にはしたくない」と考えてきたが、「交付金や固定資産税など原子力発電の恩恵を受けておきながら、使用済み

核燃料(核のゴミ)だけは県外に持っていき！」というような主張が心情的に許せなくなった。今後、福井県に追従するような「使用済み核燃料の県外搬出」という主張は行わないようにしたい。

答 ②保育園の使用済みおむつの持ち帰り(謎ルール)を廃止すべき！ 廃止により子育て家庭や保育現場での負担軽減を図る。

問 保育園の使用済みおむつの持ち帰りについて

は、保護者にとって謎のルールとなっている。「夏場には特に送迎する車の中に臭いが残り、臭いが気になってお迎えの後の買物に行けない」、「50枚、100枚のビニール袋に全て名前を書くのが負

担」など、特に働いている保護者は負担を重く感じている。

また、保育園で働く保育士にとつても、おむつに書かれた名前を確認して保護者が持参したビニール袋に入れるという仕作業を毎回、毎日のように行うのは負担になっている。

厚生労働省は1月に、全国の自治体に対して、保育士や保護者の負担軽減にもつながることから、保育所等において使用済みおむつの処分を行うことを推奨する通知を出している。

子ども政策統括幹 町では、国の動向などを踏まえ、関係機関と調整した結果、県の補助金を活用し、使用済みおむ

つのウイルスや臭いを密封する機器、保管用のごみ箱の購入費を補正予算案に計上した。使用済みおむつの持ち帰り廃止によって、子育て家庭や保育現場での負担軽減を図り、子育てしやすい環境整備につなげたい。

意見 美浜町が使用済みおむつの持ち帰りを廃止して、保育園でまとめて処分する決断をした。

これからも町民にやさしく、子育てしやすい環境をめざして、議員と行政がともに役割を果たしていけるよう努力したい。

町政を問う！



中村 春子 議員

答 ①災害や危機への備えを強化する取り組み 地域防災計画に基づき災害に強い安全なまちづくりを目的としている。

問 地域防災計画を令和4年3月に改定しているが、どのような改定が行われたのか伺う。

町長 地域防災計画は、町の災害対策に関し、予防、応急対策及び復旧の諸事情を定め、関係機関が防災活動を総合的かつ計画的に推進することによって、住民の生命、身体及び財産を災害から保護するとともに、この計画に基づき事前の対策を推進すること、災害に強い安全・安心なまちづくりを進めることを目的としている。

エネルギー政策課長 令和4年3月の改定では、近年の特に被害の大きかった大型台風や豪雨、豪雪などの対策を踏まえた災害対策基本法改正や国の防災基本計画の改定が行われたことから、整合性を図り、災害対応を強化するための所要の改定を行っている。具体的には、警戒レベルを見直し、避難勧告を廃止して、警戒レベル4、避難指示で必ず避難することや、避難準備・高齢者等避難開始が警戒レベル3、高齢者等避難となるなど分かりやすい表現で早期に行動が取れるようにするための改定が行われている。

問 町は、災害や危機に対し備えることの重要性を町民に対して分かりやすく示していくべきと考えますが、その見解を伺う。

エネルギー政策課長 日頃から災害や地震への備えを行っておくことは大変重要であり、本町においても、防災ハンドブックや洪水土砂災害ハザード

ドマップの全戸配布、また、防災アプリによる町からの注意喚起や、台風や大雨時の緊急情報の発信など、周知・広報を図っている。今年度において、防災担当職員が各地区の会合や自主防災組織の集まりで、ハザードマップ等を用いて、注意すべき点やいざという時の行動、非常時の家族との連絡方法や非常用持ち出し袋の役割などについて説明を行うなど、取組みを実施している。

答 ②自分たちの地域は自分たちで守る 毎年、自主防災訓練の実施や、集落の情報共有などの取り組みが行われている。

問 自主防災組織を設立された集落などの「防災知識の普及や防災訓練」の取り組み状況について伺う。

エネルギー政策課長 現在自主防災組織は、町内の22集落で設立されており、各集落での

防災活動に取り組んでいる。郷市区では自主防災組織で、総合的な防災訓練を実施している。久々子区や松原区、菅浜区や佐田区などにおいても、敦賀美方消防組合の協力の下、消火栓訓練や研修会が行われている。また日向区、早瀬区を始め多くの自主防災組織では、定期的に集まって集落の情報共有や防災知識の習熟を図るなど、それぞれの取組みが行われている。

答 ③避難所運営のあり方について プライバシーの保護等、避難環境の整備に取り組んでいる。

問 国は、男女共同参画の観点から防災・復興の取組みに関する検討会を新に発足させ、女性や子育て家庭の視点を踏まえた避難所の課題を検証している。避難所については、町社会福祉協議会や福祉関係者などとの、連携による女性視点の運営が求め

られると考えるが、見解を伺う。

エネルギー政策課長 女性視点を反映させる工夫や取組みとしては、プライバシーの保護、プライベート空間の確保などに配慮しつつ、避難環境の整備に取り組んでいる。

意見 女性と男性では災害が生じることに配慮することが重要です。災害は、地震、津波風水害などの(自然要因)と、受け止める側の社会の在り方(社会要因)により、その被害の大きさが決まってくると考えられています。社会要因については、性別はもちろん、年齢や障害の有無等、様々な社会的立場によって影響が異なることから、社会要因による災害時の困難を最小限にする取組みが重要と考えます。

町政を問う！ 一般質問



梅津 隆久 議員

問 原子力施設外防護について
国は今すぐ嶺南地域への自衛隊部隊の配置は難しいが政府関係機関が一体となって原子力防護に取組んでいくと共に有事に備えて継続的に検討していく。

答 第五次総合振興計画、後期基本計画の原子力安全確保対策の推進として、国民・住民の安全と安心の強化を図る中で、国の関係省庁への安全対策に関わる要請活動を進めているが、電力事業者のみでは防護できない近年の国際情勢の中で、ロシアのウクライナ原発への武力攻撃や北朝鮮のミサイル発射が頻りに日本海排他的経済水域外に落下し国民不安を仰いでいる。射程を誤れば若狭の原子力発電所が危険に陥る可能性はゼロとは言えないと考える。7月4日に福井県と嶺南6市



辻井 雅之 議員

問 若狭美浜インター産業団地の企業誘致の評価と地元雇用者の数は。
答 現状は一定の成果を得ていると考える。今後モトツブセールスを含め関係者と積極的な誘致活動を進める。団地企業の地元雇用者は最優先で進めたい。

問 山上地区の産業団地の整備が始まり9年が経過した。4月に5社目となる野菜工場との契約も交わしたが、産業団地の現状をどの様に評価しているのか。
町長 分譲開始前から積極的な誘致活動を行い、現在4社の進出をいただいている。

本町の雇用創出や産業の複層化等で一定の成果を得ていると考える。現在のウクライナ情勢も絡み資材高騰等の社会情勢にあるが、県や関係団

町長 立地地域の安全・安心を守っていくため警察など様々な機関との連携により平時から有事に移るときに訓練や展開基盤について引き続き検討していく。

問 防衛省自衛隊福井地方協力本部の発言では原子力防護に特化した国民保護は、自衛隊の活動として明示されていないとの事であるが行政としての認識を伺いたい。
エネルギー政策課長 自衛隊は事態対処法に基づき国防を担い、地方自治体は国民保護法により国民を守り、地方公共団体は国民保護法により、住民の避難誘導、被害の軽減等を図ることとなっている。

問 一隻運行であることからお客様回転率が悪いが10月から二隻体制となり改善できる。
答 一隻運行であることからお客様回転率が悪いが10月から二隻体制となり改善できる。

問 観光の振興として、この春から観光協会、DMOで一隻の船で営業を開始したがバス等の団体客優先で乗船すると一般客が乗船できず待ち時間も発生し、不満が生じていると聞いているが10月からの二隻運行でお客様の満足度が上がるのか。
観光誘客課長 10月から二隻体制で営業を予定しており客席31席で一隻目と合わせ最大60人の乗船可能となり、DMOにおいても運行体制を整え、お客様満足度を上げて頂けると考える。

問 浦見川往來時にスワリユーが川底に接触すると言った問題が発生したと聞いているが原因と対策について伺います。
観光誘客課長 川底での異物は発見されず、原因は河川壁面からの転石と推定している。また、安全航行自動システムの導入を図り安全最優先で運行したい。



若狭美浜インター産業団地

問 昨年9月の本議会で企業誘致の地元雇用の条件が緩和され、地元枠が縮小された。現在、この産業団地4社の地元雇用者は何人位いるのか。
産業政策課長 平成19年以降、町内の地元雇用は47名となっている。美浜インター産業団地では4社で地元雇用は21名です。

体と連携をして、トップセールスも取組んでいく。

問 「なびあす」の生涯学習拠点としての(図書館・中央公民館)機能状況と改善意見
答 図書館の蔵書と利用者は増えているが貸出は減っている。地区の公民館との連携は同じ方向性で情報共有も努め、住民目線の活動を推進して行く。

問 「なびあす」に併設する町立図書館の蔵書数と利用状況はどの様なものか。
生涯学習推進課長 現在の図書館の蔵書数は、8万1091冊在り、来館者数は年間5万3189人となっている。

問 また本の貸出冊数は平成28度より9千冊減少し、7万6476冊となっているが、人口一人当たりの貸出数は県内で3番目となっている。
生涯学習推進課長 現在の図書館の蔵書数は、8万1091冊在り、来館者数は年間5万3189人となっている。

問 上瀬川下流付近の浅場造成場所の一部でヘドロの堆積が多く、悪臭も入りシジミの生育に悪影響を与え生存しにくいと推定されることから環境調査とヘドロ回収の必要性の有無についての見解をお聞かせください。
産業政策課長 粒子の細かい砂泥が堆積したものでヘドロではなくシジミの生育場として敵地であると判断するが今後とも専門家の意見を仰ぎながら、地元漁協と共に継続的な調査や定期的な湖底攪拌、覆砂などの対策に努めていきたい。

問 道の駅「はまびより」の集客増に向けて
答 集客に向けては、各テナントも工夫している。毎週日曜日開催のハーフトフル朝市も集客が増えている。

問 道の駅「はまびより」の集客が気になりませんか。
答 国交省管轄エリアには、BGMが流れておらず、売店も手狭なのが気になります。「若狭みはま音頭」は最適なBGMなのでは？売店は屋根付きイベント広場も活用しては。

また本の貸出冊数は平成28度より9千冊減少し、7万6476冊となっているが、人口一人当たりの貸出数は県内で3番目となっている。



問 閉会等に情報もなしに閉店に至った理由は。豊かな生涯学習社会を実現する目的の下、平成25年度より障害者と健常者が日常的にふれあいがら運営するボランティア活動の場所として、はこべの家が指定管理者として営業してきたが作業能力の高い作業者の減少と職員の確保が困難となったことによるものである。
生涯学習推進課長 豊かな生涯学習社会を実現する目的の下、平成25年度より障害者と健常者が日常的にふれあいがら運営するボランティア活動の場所として、はこべの家が指定管理者として営業してきたが作業能力の高い作業者の減少と職員の確保が困難となったことによるものである。

問 久々子湖内水面漁業について
答 シジミ資源を回復させるため、漁獲制限をはじめ、湖底の攪拌、覆砂や食害を軽減する手法の確立等関係機関と連携を図っていく。

問 道の駅「はまびより」の集客が気になりませんか。
答 国交省管轄エリアには、BGMが流れておらず、売店も手狭なのが気になります。「若狭みはま音頭」は最適なBGMなのでは？売店は屋根付きイベント広場も活用しては。

問 イベント広場には、キッチンカー等も配備している。ハーフトフル朝市も時間延長で利用者は2割増えている。

問 イベント広場には、キッチンカー等も配備している。ハーフトフル朝市も時間延長で利用者は2割増えている。

イベント広場には、キッチンカー等も配備している。ハーフトフル朝市も時間延長で利用者は2割増えている。





議員 山岡 祐馬

新型コロナウイルス感染症について

問 コロナ禍の影響を受けた中小企業の実態は把握しているのか、また、影響を受けた企業に対して、今後支援を行うのか。

産業政策課長 産業政策課長・新型コロナウイルス感染症対策課長による町内企業への影響については、当初は特に宿泊・飲食業の売上げの減少に始まり、さらには資材高騰による建設業関連の資金繰りが厳しいという状況であったと思われ。そういったことから、これまで売上げの確保や資金調達に関する支援を重点に、県と共に支援を実施してきた。

今後は、これまでと同様、商工会、金融機関、行政で構成する美浜町金融連絡会議を中心に、関係者の声や実態の把握に努め、必要な支援を検討する。

討していきたいと考えている。

少子化対策について

問 少子化問題について、本町の現状における最大の課題は何か。

町長 少子化問題については、様々な要因が考えられるが、国家レベルでは未婚化、晩婚化が進んでいること、本町では、こうした状況に加え、人口動態分析により、若者世代の流出が進んでいることなどが大きな課題であると捉えている。

問 本町として独自に取り組む異次元の少子化対策はあるのか。

子ども政策統括幹 町として少子化対策や子育て支援に取り組みには、国や県との密な連携の下に、これまで以上に推進していくことが重要であると捉えている。そのためにも、子ども・子育て世代や地域の子育て関係者、専門家と共にしっかりと議論をして、本町の実情や課題に応じた少子化対策及び子ども・子育て支援策を検討していきたいと考えている。

空き家対策について

問 年々増加する空き家の現状における最大の課題は何か。

町長 所有者の経済的な理由で空き家の解体が進まないこと、また、ふるさと意識や当事者意識が低下し、適正な管理に係る認識が不足し始めていること、そして、空き家の売却や賃貸借への理解が進まないことなどが本町の空き家問題に係る課題と捉えている。

問 空き家対策に特化した課を新設し、本気で解決する考えはないのか。

土木建築課長 町としては、空き家問題を解決するため庁内横断的な取組を強化することにより、これまでから対応を行ってきたが、地元集落との連携も必要であると考えている。

そのため、官民連携により、地元区長をはじめ役員の皆様方、また、親戚、支援者など関係者の皆様方の御協力をいただきながら空き家問題の解決に取組を進めていきたいと考えていて、このような

取組が効果的であると考えることから、当面は地元区と協力、連携による空き家対策に取り組みしていきたいと考えている。

通学路について

問 道の駅オープン等に伴い観光客が増加し、交通量が増加したと考えるが、危険箇所の把握や調査、見直しなどは随時行っているのか。

教育総務課長 町では毎年、各小中学校に対して通学路の危険箇所についての実態調査を行って、その上で、国、県、町の各道路管理者、敦賀警察署、学校代表者、PTA代表者等で美浜町通学路交通安全推進会議を開催し、実際に現地を確認する合同点検を実施している。

推進会議の委員それぞれの立場からの知見でありますとか意見をいただきながら必要な対策を講じており、箇所についてはハード整備であったり、児童生徒に対する交通安全指導の徹底など、町としても通学路の安全確保に取り組んでいる状況である。

さらに、安全対策を講じた後も、現地を事後調査し講じた対策が効果的であったのかを検証するなど、通学路の安全確保のためのPDCAサイクルにより、対策の見直しや通学路の安全性の向上に取り組んでいる。

また、新たに整備をされた道の駅はまびよりについては、計画段階から交通量の増加が予測されていたので、昨年度の工事期間中から合同点検を実施し、工事関係機関と連携をしながら、通学路の安全確保に向け、協議をしてきた。

今年度は去る8月18日に推進会議を行い、整備後の道の駅周辺等の合同点検を実施し、現在の通学状況を踏まえて、新たな改善箇所と安全性の向上について現在、関係機関と調整をしている状況である。

今後も、町内の通学路について、関係機関と一層の連携と安全確保に努めていきたいと考えている。

①町では子育て支援のために無料でできるものはあるのか。



議員 川畑 ただとし

問 医療費の無料化、保育料の無料化、給食費の無料化、公共施設の無料化、この4つの政策を完全無料化にできれば、他市町に奪われてしまっている子育て世代には、今より喜んで移住してくる可能性がある。

この施策により、美浜町がどこにもない子育ての町として受け止めてくれる若者が出てくるのなら、やってみる価値はある。この一面を前面に打ち出していくことが、人口減少の解決策の一つになるのではないかと考える。子育てに特化した町をつくることを望

子育て支援のために無料はできるのか。

答 持続的な行政運営を行う観点から、慎重に見極める必要がある。様々な施策の中で優先順位をつけながら、次世代への負担も踏まえ、検証していきたい。

むが、町長の意見を伺う。

町長 サービスの提供には持続的な財源が必要であり、4つの無償化施策の中で、子ども医療費は既に実施済みだが、保育料や給食費の無償化は、持続的な行政運営を行う観点から、慎重に見極める必要がある。様々な施策の中で優先順位をつけながら、次世代への負担も踏まえ、検証していきたい。

②人口減少対策の現状課題について(転出・転入)

めたいと考えている。

問 美浜町では転出超過が続いていて、人口減少に歯止めがかかっていない。転出超過により地域の経済活動に悪影響を及ぼさないようにするために、地域の魅力を高め、住民が安心して暮らせる環境整備を行い防いでいきたいものだが、だんだんと転出超過率が上がる中で、どのように今後進めていくのか、取組を伺う。

まちづくり推進課長 第2期美浜創生総合戦略策定時に実施した転出者アンケート調査によると、転出のきっかけは結

③人口減少から見える少子化対策について

婚が最も高く、転出先を選んだ理由の上位には、希望する住宅が確保できたとある。そのうち約4割が美浜町に将来戻るとも、と回答しており、転入決断の強い動機となるのは、新たな住宅地の整備の割合が最も高くなっている。これらの結果に基づき、新婚世代や子育て世代等の若者に求められる住宅団地の整備や賃貸住宅の誘致を進めているので、現在改善傾向にあると考えている。

問 子育て支援対策は、町に住む人が子供を産み育てやすく、家庭の負担を軽減し、子育てしやすい環境を整えることで、子育てをする家庭の生活を向上させることだが、現状はどのようになっているのか伺う。

生活の質とは、生活満足度でもあり、内閣府において、幸福度の主観的指標として生活の質に関する調査が行われている。令和4年の地方圏における15歳から39歳の若年層の生活満足度は10点満点中5.7前後で、ほぼ横ばいとなっている。生活の質の中に一つの指標でもある、子育てのしやすさに着目すると、令和元年の子育てに関する町民アンケートでは、美浜町は子育てしやすい町ですかという問いに対して、そう思う、と回答した割合は90.5%となっている。変化する社会の中で子供が大事にされ、子育て世代が子育てに夢を持ち、喜びを実感できるように、今後も子育て支援の充実を図っていきたい。

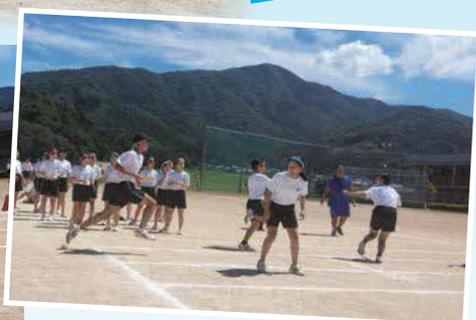
美浜中学校

体育祭

9月3日青空の下、美浜中学校の体育祭が開かれました。コロナ明けで久しぶりに大きな声援を上げることができた生徒たちは元気に校庭を走り回りました。赤・青・黄の3組に分かれリレーに綱引き、応援合戦と存分に「アオハル」を謳歌しました。



学 校 祭



編集後記

行政の森本教育長が9月30日付けで退任されました。6年間ご苦労様でした。新たな加藤教育長は福井県庁を以前に退任され今回の就任となりました。学校教育や社会教育は初めてのことですが、議会も同意をしました。頑張っていたきたいと思います。

議会広報も7作目を発刊することが出来ました。これまで広報誌がカラー化となり、見やすく読みやすくなったと感じておりますが、きめ細やかなことまでは、まだまだ改善されていません。特に記事におきましては、各議員の動向や地元での活動等、議員個人の内容は、個人の宣伝となることを避けるために、掲載してきませんでした。しかし、議員の活動内容があまり分からないとよく聞かれます。町民の皆様には浸透されていないことが良く分かりました。

今後は議論しながら、この議会広報誌で少しでも議員各位の情報が分かるように、読みやすく改善しながら、発刊することに心がけていきたいと思っております。

(川畑 記)

美浜町議会広報特別委員会

- 【委員長】 兼田 和雄
- 【副委員長】 中牟田 春子
- 【委員】 竹仲 良廣・崎元 良栄
川畑 忠之・河本 猛
梅津 隆久